

会議結果

会議名	令和7年度第1回西尾市上下水道事業審議会
日時	令和7年5月23日(金) 午後1時から午後3時15分まで
場所	西尾市役所本庁舎 2階 22AB 会議室
出席委員	会長 齊藤由里恵、副会長 藤井眞琴、愛染幸雄、鈴木宏忠、 糟谷大輔、颯田妙子、勝良一、糟谷朝光
欠席委員	木下典子
事務局	上下水道部 部長 黒柳慎一 上下水道経営課 課長 鈴木正良、課長補佐 中根綾美 下水道整備課 課長 近藤茂弘、課長補佐 深谷英明 課長補佐 山本明弘 上下水道営業課 課長 伊藤清克、課長補佐 榊原智江 課長補佐 鈴木正義 水道整備課 課長 牧原保志、課長補佐 鳥居正行 株式会社中央設計技術研究所(4名)
傍聴者	
議題	1 市長あいさつ 2 委嘱状交付 3 委員自己紹介 4 正副会長選任 5 市長諮問

<p>議 題</p>	<p>6 審議事項 (1) 適正な下水道使用料について ア：令和7年度上下水道事業審議会審議内容 イ：下水道事業の概要 ウ：下水道使用料改定の必要性 エ：下水道使用料の検討方針 オ：その他</p> <p>7 連絡事項</p>
<p>会議結果</p>	<p>(1) 適正な下水道使用料について 【ア：令和7年度上下水道事業審議会審議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項について事務局から説明 質疑応答及び意見 <p>(質疑応答なし)</p> <p>【イ：下水道事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項について事務局から説明 質疑応答及び意見 <p>(質疑応答なし)</p> <p>【ウ：下水道使用料改定の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項について事務局から説明 質疑応答及び意見 <p>(委員)</p> <p>資料内に「委託による業務効率化」という記載があるが、具体的にどのような取組をしているのか。</p>

会議結果	<p>(事務局)</p> <p>一例として、これまで下水道整備課の職員が担当していた設計を外部に委託することで、下水道整備課の職員数を削減し効率化を図るといった取組をしております。</p> <p>(委員)</p> <p>汚水処理原価が高い自治体でも使用料単価が高く、経費回収率も高い水準にあるところもあるが、この関係性を説明してほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>汚水処理原価と使用料単価が同額であれば経費回収率も100%となるため、汚水処理原価が高い自治体でも、それに見合った下水道使用料をしっかりと徴収していると考えられます。</p> <p>(委員)</p> <p>汚水処理原価が高い自治体は、地域的な特性により施設整備にかかる費用が高い、といった特殊な事情があるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>他自治体の詳細な事情については把握しておりませんが、下水道事業は一般的に、住宅が密集している市街化区域等であれば施設整備・維持管理にかかるコストを抑えられ、市街地から離れた市街化調整区域のような住宅が分散している地域では施設整備・維持管理の効率が悪く、コストも多くかかります。</p> <p>【エ：下水道使用料の検討方針】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 審議事項について事務局から説明 質疑応答及び意見 <p>(委員)</p> <p>意見一つ目。事前にいただいた資料を確認して、最も重要なことが理解できずに参加したが、事務局より説明をさせていただいて、本審議会でも議論しなければならない事項がわかったような気がする。</p> <p>意見二つ目。経費のうち、更新需要等にかかる資本費が多</p>
------	---

会議結果	<p>くの割合を占めていると考える。一方で、不測の事態に発生する費用は、事態が発生した時に考えるべきものとする。よって、今後の検討においては更新需要等の経費を中心として試算を進めていけば良いのではと考える。</p> <p>質問。令和元年6月の議会で下水道使用料の改定が否決されたのはなぜか。</p> <p>(事務局)</p> <p>意見一つ目について。本日の要点としては、本市の現状をご理解いただき、使用料改定の必要性があることをご説明したいということです。本来下水道使用料から賄うべき費用を一般会計繰入金から補填しているため、経費回収率を100%に近づけるためにご議論いただくことを目的としております。</p> <p>意見二つ目について。経営戦略では投資・財政計画も策定・改定しており、今後の整備や更新の費用も計上しております。一方で、大災害が発生した場合の費用は計上しておらず、通常で考えられる耐震化や更新の費用を見込んでおります。これを踏まえて、下水道使用料の改定率をシミュレーションしていきます。</p> <p>質問について。改定に関する議案に対して、賛成・反対の多数決で否決されたものですので、正式にどのような理由で否決されたかは残っておりません。当時、改定率25%を1回で上げるという議案だったと思いますが、市民への影響が大きすぎるというのが主な理由だと思います。最終的には25%上げますが、2回に分けて上げるということでご説明したところ、理解いただいております。</p> <p>(会長)</p> <p>近年は災害の頻発や老朽化による事故で下水道利用者の意識も変わり、下水道使用料を値上げして整備をしてもらうことに対して理解も進んでおります。令和元年度当時は下水道使用料改定の事例が少なく、反発も大きかったと推測しますが、当時から危機感を覚えて、改定をしようとしていた姿勢は評価できるものです。ですので、審議会では、どういうあり方が望ましいかをご議論いただき、答申を提出したいと考えております。</p>
------	---

会議結果	<p>(委員)</p> <p>質問一つ目。経費回収率 96%と記載されているが、これは公共下水道事業のみなのか、三事業合計の値なのかお伺いしたい。</p> <p>質問二つ目。この 96%を達成することは、社会資本整備総合交付金の要件を満たすために必要だと理解したが、今年度で下水道整備が概成する中で、さらに維持管理のほうで補助金があるということか。</p> <p>(事務局)</p> <p>質問一つ目について。96%というのは3事業合計の値です。公共下水道事業のみであれば、経費回収率は 100%に達する見通しです。</p> <p>質問二つ目について。委員のおっしゃる通り、下水道整備は今年度で概成するため、下水道整備にかかる費用はなくなる見通しです。一方で、定期点検や施設の長寿命化等の維持管理にかかる費用に対しても国の補助金を充てておりますので、これを継続して獲得していきたい、ということです。</p> <p>(委員)</p> <p>下水道利用者が負担すべき経費に対して下水道使用料を支払わないといけないと考えているが、不明水にかかる処理費に対して使用料を支払うことに疑問がある。不明水の対策はどれくらい進んでいるのかお伺いしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>本市の有収率が約 87%で、残りの約 12%程は不明水や侵入水となります。不明水の問題は近隣でも共通で、今は広域的に岡崎市や豊田市と共同で点検を行って、不明水の原因の調査を行っています。実際、TVカメラ調査が進んで、不明水の流入が確認された路線を中心に管更生工法等で改修をして、不明水を減らす努力をしています。</p> <p>(会議終了)</p>
------	--